令和7年度地域振興推進費実績一覧

佐久地域振興局

横断的な課題	施策の柱	No	事業名 （主な担当課・所）	実績額（円）	事業実績・成果
「晴れやかな空の下、心晴れやかに暮らす」確かな生活の基盤づくり	医療・介護・生活支援の更なる充実と教育の強化	1	健やか佐久プロジェクト ～知ろう！食べよう！体を動かそう！みんなで健康づくり・フレイル予防～ （佐久保健福祉事務所、東信教育事務所）	504,610	**1　成果指標・目標値**　※括弧（　）内は実績値 ・「放課後けんこう倶楽部」の実施　　6回以上、延べ150名以上（11回、延べ222名） ・健康づくり・フレイル予防実践講座への講師派遣回数及び参加者数　　7回以上、150人以上（7回、延べ183名） ・関係機関・団体等を通じたリーフレット活用実績　　2000部（2460部） ・運動用具貸出実績　　30回以上（136回） **2　達成状況**　達成 **3　事業実績・成果** 〇今年度からシニア大学佐久学部の協力の下、シニア大学講義終了後に「放課後けんこう倶楽部」を開催した。初の取組であったが、体操やヨガ、レクリエーションなど体験を中心とした講座内容が多く、参加者から好意的な感想が多く寄せられた。（満足度4.37点/5点満点中）講座を通して、地域で活躍するボランティアの活動を身近に感じ、具体的な活動をイメージすることができた。なお、この取り組みは「令和7年度健康づくり研究討論会」にて、実践報告を行い、好事例として県内関係機関へ紹介した。 〇講師派遣については、昨年度と同程度の派遣希望があった。数年間、継続的に実施してきた結果、講師と派遣希望団体等との顔の見える関係を作ることができた。 〇昨年度、本事業で作成した「なから分かる！フレイル」リーフレットを公民館や通いの場で活用してもらうことや、佐久地域で採れる野菜等を使った「野菜料理レシピ」の募集、作成、配布を行った。普及啓発は、連携推進会議のメンバーを中心に各機関・団体を通じて、佐久地域へ広く普及啓発することができた。
		2	佐久平プレメディカルケア産業創出事業 （商工観光課）	1,566,740	**1　成果指標・目標値**　※括弧（　）内は実績値 ・医療・介護現場等での製品開発着手数　　2件（2件） ・展示会での取引商談件数　　5件（6件） **2　達成状況**　達成 **3　事業実績・成果** ・地域企業が有する加工技術等を活用し、医療介護現場ニーズに対応した新たな開発製品2件に着手した。また、今年度5件の開発製品で2億4千万円余りの売上実績があった。 ・国際福祉機器展（来場者数約12万人）において、開発製品5件を出展し、来場者から、名刺交換、カタログ請求など423件の反応があり、そのうち、6件のより具体的な商談実績を上げることが出来、新たな販路開拓の足掛かりを得ている。
	豊かな自然環境の保全や、地域の特性を活かした脱炭素	3	ゼロカーボンライフスタイル普及事業 （環境・廃棄物対策課）	32,860	**1　成果指標・目標値**　※括弧（　）内は実績値 ・ゼロカーボンミーティングの参加者数　　30人以上（53人） **2　達成状況**　達成 **3　事業実績・成果** 【実績】 ・「気候変動 わたしたちにできること」をテーマに、地球温暖化防止活動推進センター 地球温暖化防止活動推進員 鈴木講師、「気候変動影響・竹林増加への対策」をテーマに、長野県環境保全研究所　高野講師、「2050ゼロカーボンの実現に向けた県の取組」をテーマに、長野県ゼロカーボン推進課三井講師が、講演を実施。 ・CO_2重さ体験会や竹林問題を楽しく解決する取組の展示を実施。 【成果】 ・鈴木氏の講演により、参加者個人でできる具体事例を示すことで、身近に感じてもらうきっかけとなった。 ・高野氏の講演により、竹林管理の実情や複合的な課題を把握するとともに、具体的な取組事例や成功事例について示すことで、竹林問題を身近に感じてもらうきっかけとなった。 ・三井氏の講演により、長野県ゼロカーボン戦略の現段階の達成状況、課題とその見直しのポイント、及び県で実施している取組内容について、知識を深めることができた。 ・CO_2重さ体験会でのCO_2の大きさや重さの視認・体感や、展示コーナーでの淡竹パウダーの展示などにより、参加者に環境問題をより身近に感じてもらうきっかけを与えることができた。

横断的な課題	施策の柱	No	事業名 （主な担当課・所）	実績額（円）	事業実績・成果
「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり	農林水産業、商工業の振興	4	佐久地域農畜産物地消地産推進事業 （佐久農業農村支援センター）	367,290	**1　成果指標・目標値**　※括弧（　）内は実績値 ・流通体制モデル地域の設定　　1ヵ所（1ヵ所） ・知る機会の提供に係るプルーン利用宿泊施設数　3施設（13施設） ・直売所交流会に係る参加直売所数　7施設（8施設） **2　達成状況**　達成 **3　事業実績・成果** 〇市場流通の実情確認と既存ルートを利用した新たな流通方法の検討 JA等と直売所などを活用した地元農産物の流通ルートについて検討したが、新たなルートの確立には至らなかった。 直売所リストの活用状況の聞き取りを行った結果、直売所により様式等が異なり、共通したリストでは使いにくいとの意見が多かった。個別の直売所で使用している様式に基づいた個別指導を検討する。 〇宿泊施設等に対する佐久地域産農産物の魅力発信 軽井沢ホテル旅館組合で地元産農産物を使用した施設13施設に対するアンケート結果では、地元産プルーンに対する認識が深まり、今後も継続して使用したいと好評であった。今後の継続した利用の促進について令和8年度に検討する。 〇こだわり農産物の魅力発信 こだわり農産物レシピ集を300部印刷して宿泊施設や直売所等に配布した。また、レシピ集に記載されたレタス、佐久鯉、牛乳等を使用した調理動画を長野県公式YouTubeに掲載し、再生数は令和8年4月21日時点で361回である。 〇直売所交流会 8直売所28名が参加し、持続的な直売所運営に関する講演や、それぞれの直売所の問題や課題を把握し解決するためのワークショップを行った。直売所間の交流を通じた経営安定や情報交換の促進が図られた。
		5	生食プルーンの美味しさを佐久地域から発信！ （佐久農業農村支援センター）	1,555,400	**1　成果指標・目標値**　※括弧（　）内は実績値 ・スタンプラリー達成者　　100人（64人） ・アンケートにおけるイベント満足度調査　　回答者の7割が「イベントにまた参加したい」回答（10割） ・生食プルーンを普及するためのSNS等の記事制作・配信SNSへのアクセス数　　1000回以上（10,793回） **2　達成状況**　一部達成 **3　事業実績・成果** ①令和7年9月13日（土）～令和7年10月13日（月）に佐久地域産のプルーンを使ったスイーツや生のプルーンの購入、プルーンのもぎ取りを対象としたスタンプラリーを開催し、スタンプラリー達成者は64人だった。同イベントにおいて実施したアンケートからは、佐久市以外の上田市、長野市等県内からの参加者に加え、県外からの参加者もいたことから、地元消費の定着のみでなく、県外消費者が佐久地域に来訪するきっかけづくりにも貢献できたと考えられる。イベント参加者の年齢層は50～60代が多く、若い世代の参加が少なかったことから、今後将来にわたってプルーンを地域の特産として定着させるために、幼少期からプルーンに慣れ親しんでもらうべく、子育て世代等若年層が参加しやすい、情報を得やすいイベントにすることが課題。 ②生食プルーンの普及を図るため、スタンプラリーイベントの特設Webページに、プルーンを紹介するページを開設したほか、スタンプラリー応募用紙やラジオ番組等を活用し、食べ方の紹介、旬の時期等について情報を発信した。スタンプラリーを契機として実施したアンケートからは、県内外を問わず、プルーンを生で食べたことがある人や、佐久地域がプルーンの産地であることを認知している人が多く、全体として認知度が高い傾向がみられた。一方、関東1都3県および長野県から対象者を無作為に抽出して実施したアンケートからは、県内外を問わずプルーンに関する認知度は低い傾向にあった。これらの結果から、県内外を問わず、プルーンに関心のある層と関心のない層が明確に分かれていることが示唆された。したがって、プルーンの生食を普及させるためには、まずプルーン自体への関心を喚起する取組を実施することが課題。
		6	狩猟者育成のための狩猟体験・魅力発信事業 （林務課）	898,700	**1　成果指標・目標値**　※括弧（　）内は実績値 イベント参加者数　20人（34人） **2　達成状況**　達成 **3　事業実績・成果** ・捕獲技術の実技講習をメインとする入門コース（1日）とスキルアップコース（1日）、狩猟に関するワークショップ（1日）を実施し、各回10名程度に参加いただいた。アンケート結果から、参加者の満足度は一定程度あり、狩猟参加意欲の向上が確認できた。実技講習については、猟具の解説や解体体験などの実践的な内容や、安全管理の講義についての評価が高く、狩猟に対する不安の解消や捕獲技術理解の促進に寄与したと想定される。 ・参加した狩猟者からは、免許取得後、猟場の確保や他の若手狩猟者と横のつながりを持つことの難しさ、捕獲（技術、仲間）についての不安から実践に踏み出せないという声がきかれた。

横断的な課題	施策の柱	No	事業名 （主な担当課・所）	実績額（円）	事業実績・成果
「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり	新たな価値観・行動を捉えた広域観光の推進	7	佐久地域観光振興事業 （商工観光課）	144,630	**1　成果指標・目標値**　※括弧（ ）内は実績値 ・ワークショップの参加者数　80名以上（40名） **2　達成状況**　未達成 **3　事業実績・成果** ・計2回の講演会・ワークショップに管内の行政、観光協会、事業者など延べ40名が参加。 ・周知、広報不足により、目標値の参加人数を得られなかった。 ・講演会は、株式会社ふろしきやの田村 氏を講師に、広域連携の実例やメタ観光視点で「佐久地域でしかできない」観光を作り出す必要性について講演を行い、広域観光への意識醸成を図った。 ・第1回目のワークショップでは、佐久地域の観光資源を可視化し、各観光資源をつなげて、どういったことができるのかのアイデア出しを行った。第2回目のワークショップでは、第1回目のアイデアを元に、具体的な事業内容を考案した。 ・実施後のアンケートでは、「様々な業種の方々の意見が聞けてよかった。」「アイデアをブラッシュアップし、事業に活かしていこうと思う。」など、講演会・ワークショップともに好評を得、異業種間の交流を図る機会にもなった。
		8	東信州特産品PR事業 （商工観光課）	1,490,477	**1　成果指標・目標値**　※括弧（ ）内は実績値 ・ツアーの参加者　50名以上（43名） ・企画案作成数　1件以上（2件） **2　達成状況**　一部達成 **3　事業実績・成果** ・しなの鉄道観光列車ろくもんを活用して、長野県内外からの参加者に車窓から秋の東信州（軽井沢～小諸～上田）の風景と、小諸市の懐古園ガイドツアーを楽しんでもらうとともに、佐久地域の日本酒・ワイン・ウイスキー・お弁当（佐久地域の食材を使用）を提供し、東信州の特産品をPRした。 ・主に受託事業者の広報媒体（HP、SNS）での告知を実施。広報が限定的になったのと、ツアー当日のキャンセル等により目標値の参加者数を得られなかった。 ・ツアー実施後のアンケートでは「大満足」が3割、「満足」が7割の結果を得、満足度の高いツアーとなった。 ・ShinXia（大学生）に関係する学生と佐久地域の日本酒関係者との意見交換を行うフィールドトリップを実施し、「日本酒に興味・関心を持ってもらうにはどうしたらよいか」という課題に対する企画案をいただいた。また提案に至るまでの酒蔵見学や有識者からの解説等を通じ、佐久地域の日本酒について周知することができた。
		11	佐久っとサイクルプロジェクト事業 （商工観光課）	212,855	**1　成果指標・目標値**　※括弧（ ）内は実績値 ・メンテナンスが完了したラック数　7基（7基） ・情報発信(佐久っと通信ブログ)における閲覧数　120以上（144） **2　達成状況**　達成 **3　事業実績・成果** ・事業者にサイクルラック7基の木部表面研磨、塗装、ネジとボルト締め付け調整を実施。安全かつ利用者が安心して使用できる状態にした。 ・サイクルラックのメンテナンスについて県ブログを掲載し、ラックの設置場所と積極的な利用について情報発信した。 ・サイクルラックのメンテナンスにより、安全にサイクリングを楽しめる環境を整備することができた。

横断的な課題	施策の柱	No	事業名 （主な担当課・所）	実績額（円）	事業実績・成果
「教育が人を呼び込む」首都圏からの利便性と人を活かした地域づくり	移住・定住、関係人口の増加に向けた取組の推進	9	佐久地域の移住スタイル発信事業 （企画振興課）	466,093	**1　成果指標・目標値**　※括弧（ ）内は実績値 ・移住相談会参加者数　30組以上（24組） ・移住個別相談会参加者のアンケート満足度　80%以上（92%） **2　達成状況**　一部達成 **3　事業実績・成果** ・34組77名の予約があったが、当日キャンセル等により最終的に24組46名となった。 ・移住相談会参加者アンケートを実施したところ、24組中13組の回答が得られた。満足度の内訳は満足が8組、少し満足が4組、不満が1組で、不満と回答した理由は「相談時間が短い」というものであった。 ・アンケートには「インターネットでの情報収集では分からない情報が得られた」「実際に住んでいる人やスタッフの体験談が聞けて良かった」「1会場で複数の市町村の話を聞くことができるのが良い」といった意見が寄せられた。 ・個別相談により、移住希望者の具体的な疑問に回答することができ、佐久地域への移住に対する不安を解消することができた。 ・教育移住を検討している方に対して、学校所在地の市町村だけでなく周辺市町村についてもPRすることができた。
		10	若者向け佐久地域企業PRブックの作成 （企画振興課）	858,550	**1　成果指標・目標値**　※括弧（ ）内は実績値 「佐久地域の企業への関心が高まった」と回答した割合　70%（100%） **2　達成状況**　達成 **3　事業実績・成果** ・アンケートの回答数は8件と多くないが、「佐久地域の企業への理解や関心が深まったか」という問いに対して、とてもそう思うが6件、そう思うが2件という結果であり、地元企業や地元での就職への理解増進に寄与することはできた。 ・新聞記事を読んだ中学校の図書司書の方から「職業学習に活用したい」との申し出があり、佐久市内の7校にも配布した。これにより、就職を控えた年齢層だけでなく、中学生のうちから佐久地域の企業を知ってもらい、地元での就職を選択肢としてもらう機会につながった。

執行区分	令和7年度	令和6年度
当初予算額（A）	8,349,000	8,781,000
実績額計（B）	8,065,345	8,386,788
執行残額（A－B）	283,655	394,212
執行率（B/A*100）	96.6%	95.5%

評価区分	令和7年度	令和6年度
達成	7事業	8事業
一部達成	3事業	3事業
未達成	1事業	0事業
合計	11事業	11事業